



第51回定時株主総会

2021年6月25日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

【報告事項】

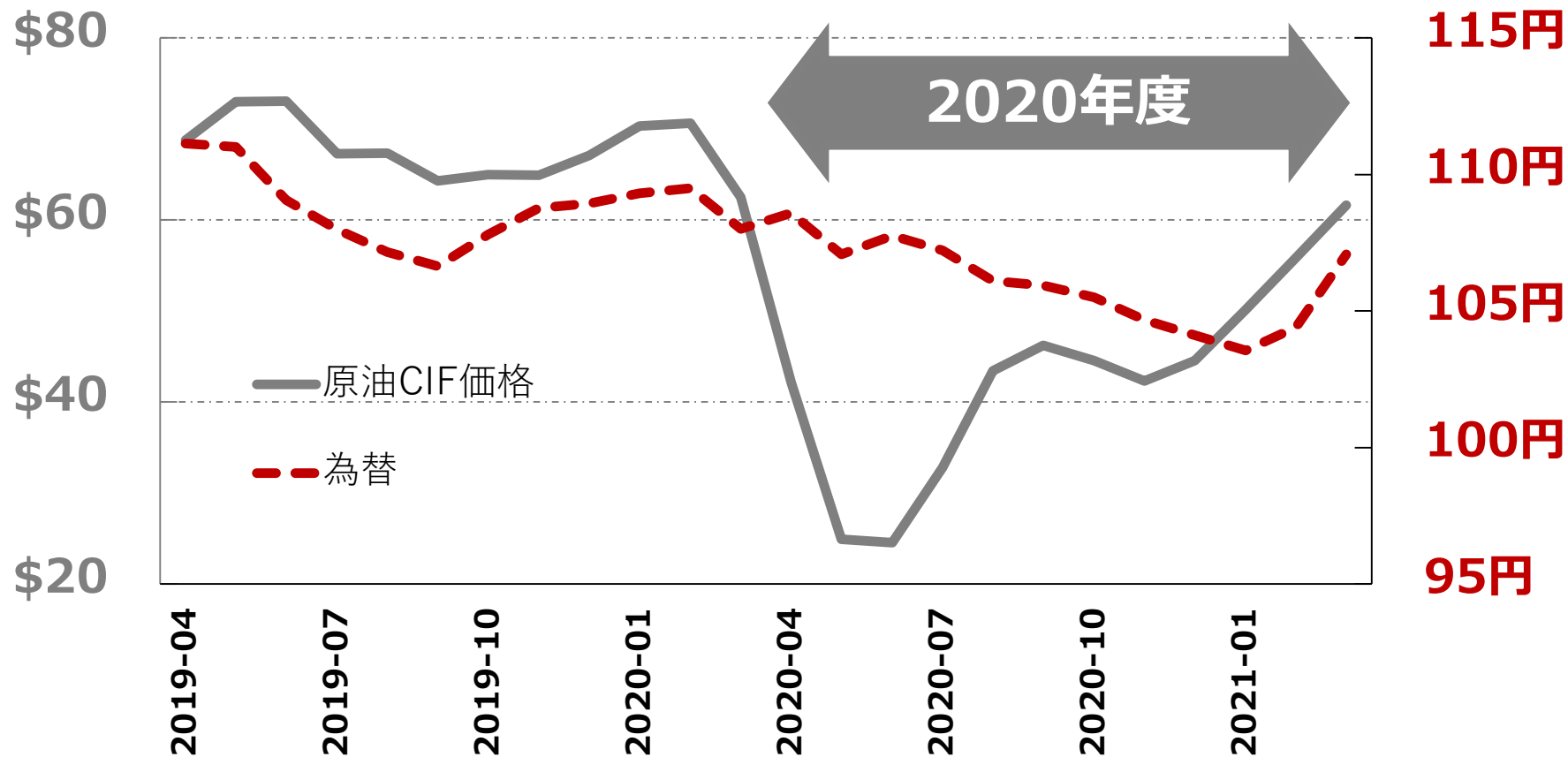
1. 第51期〔自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日〕事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第51期〔自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日〕計算書類報告の件

事業の経過及び成果

当年度の事業環境 原油CIF価格と為替の動き

[原油CIF価格] USD/bbl

[為替] 円/USD



事業報告

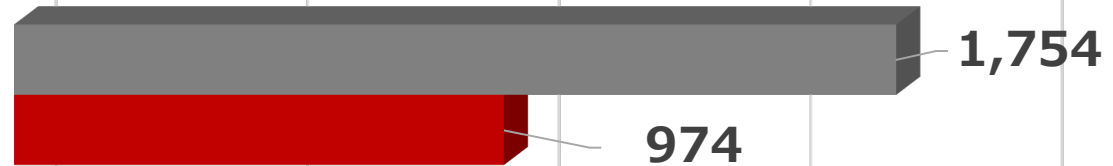
1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

2020年度の業績 ①

売上高 2,400億円 (前年度比▲787億円▲25%)

■ 2019年度 ■ 2020年度

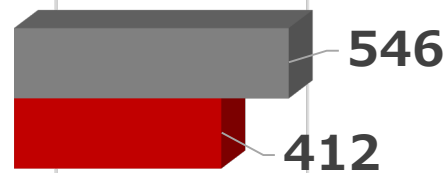
E&P事業



インフラ・ユーティリティ事業



その他の事業



単位:億円

0 500 1000 1500 2000

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

2020年度の業績 ②

[億円]	2019 年度	2020 年度	比較増減	
売上高	3,188	2,400	▲787	▲25%
営業利益	142	41	▲100	▲71%
経常利益	326	100	▲226	▲69%
親会社株主に 帰属する 当期純損益	268	▲27	▲295	-

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

連結貸借対照表

2021年3月31日現在

[億円]	2019 年度	2020 年度	比較増減	
資 産	6,271	6,247	▲23	▲0%
流動資産	2,130	2,210	+79	+4%
有形固定資産	2,940	2,667	▲272	▲9%
無形固定資産	68	61	▲6	▲10%
投資その他の資産	1,132	1,308	+176	+16%
負 債	1,869	1,902	+33	+2%
純 資 産	4,401	4,344	▲56	▲1%
うち利益剰余金	3,509	3,444	▲64	▲2%
負 債 ・ 純 資 産	6,271	6,247	▲23	▲0%

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

【E&P事業】

(Exploration & Production) 石油・天然ガスの探鉱・開発・生産・輸送・販売



● 連結子会社および持分法適用関連会社が権益を保有する主な鉱区

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

【E&P事業】 国内油ガス田

■ 安定生産および開発作業推進



勇払油ガス田追加開発



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

■ 安定生産の継続

カナダ：シェールガス
(シェールガス生産中/開発)

カナダ：オイルサンド
(ビチューメン生産中)

カナダ：オイルサンド



米国：タイトオイル
(タイトオイル生産中/開発)

【E&P事業】 中東・欧州・その他

■ 安定生産および開発作業推進

英領北海：シーガル海上鉱区
(開発)

ロシア：サハリン1
(原油生産中/開発)

イラク：ガラフ
(原油生産中/開発)

インドネシア：カンゲアン
(天然ガス生産中)

イラク：ガラフ油田



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

【インフラ・ユーティリティ事業】

■天然ガスの安定供給



相馬LNG基地



新潟・仙台間ガスパイプライン



LNGローリー



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

【インフラ・ユーティリティ事業】

■天然ガス火力発電

福島ガス発電(株) 福島天然ガス発電所1号機外観



■再生可能エネルギー開発

事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

【その他の事業（新規事業含む）】

■ 請負・石油製品の販売等

■ 環境配慮型の技術の開発・確立

- C C S（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素回収・貯留）
- メタンハイドレート
- 海洋鉱物資源調査技術

■ 新たなエネルギー事業の開発

- L N Gバンカリング・L N Gトラック
- 使用済み食用油を原料とした次世代航空機燃料の事業化検討

LNG外航船からLNG内航船へ
LNGを直接移送する様子



事業報告

1. 企業集団の現況 (1) 事業の経過及び成果

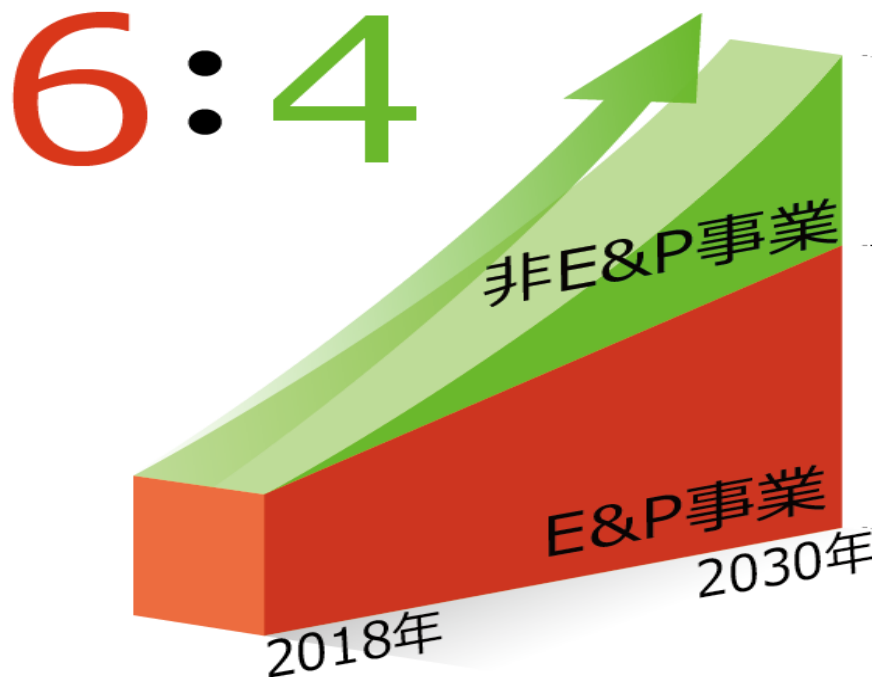
対処すべき課題

長期ビジョン・中期事業計画①

■長期ビジョン2030

「石油・天然ガスE&Pとその供給事業基盤を活かした
総合エネルギー企業への成長」

2030年の全社利益構成比率



事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

長期ビジョン・中期事業計画②

■中期事業計画2018-2022

2022年度の目標：ROE \geq 5%への改善

各事業の計画・目標

E&P事業

長期目標
RRR $>$ 1の維持

I/U（インフラ・ユーティリティ）事業

2022年目標
国内天然ガス取扱量
160万t（LNG換算）
電力販売量 28億kWh

新規事業

「新たなビジネスモデル」
「新規事業シーズ」による
環境配慮型事業創出

事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

中期事業計画の進捗状況（各事業の目標と進捗状況）

E&P事業

RRR^{*1} > 1の維持

- ▶ 当期は主に原油価格想定引き下げにより、確認埋蔵量は減少
- ▶ 国内の追加開発や新規探鉱、海外の新規権益取得やポートフォリオ適正化の検討を継続

インフラ・ユーティリティ事業

低環境負荷
エネルギーの推進

- ▶ 国内天然ガス取扱量年間160万t（LNG換算）に対する当期実績は148万t
- ▶ 電力販売量年間28億kWhに対する当期実績は30億kWh

新規事業

環境配慮型事業の
創出

- ▶ CCS/CCUS技術などの実用化に向けた実証を推進
- ▶ 新規事業シーズとしての、LNG供給における新たなビジネスモデルの検討

事業報告

1. 企業集団の現況（2）対処すべき課題

ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み状況

2020年度実績

2021年度見通し（実施予定時期）

E 環境	【低炭素化への貢献】 ✓環境関連事業推進組織の設置	【TCFD*1提言にもとづく対応】 ✓経営リスク委員会設置 ✓GHG*2排出量目標設定
S 社会	【エネルギーの安定供給】 ✓福島天然ガス発電所営業運転開始 【魅力ある職場づくり】 ✓「JAPEX 健康経営宣言」の制定 ✓女性活躍推進「えるぼし」認定取得	【魅力ある職場づくり】 ✓在宅勤務制度の正式導入 ✓人権尊重のための取り組み強化
G ガバナンス	【経営体制等の強化】 ✓社外取締役増員：3→4名 ✓取締役任期変更：2→1年 ✓役員報酬制度改定 【リスクマネジメント】 ✓新型コロナウイルス感染拡大を踏まえたBCP*3の強化	【経営体制等の強化】 ✓サステナビリティ委員会設置

*1 気候変動関連財務情報開示タスクフォース

*2 温室効果ガス

*3 事業継続計画

事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

現行の中期事業計画の見直しについて

事業環境の変化を踏まえた 既存事業の再評価

- ✓ 中長期原油価格前提の引き下げ
(JCC = 60USD/bblから
50USD/bblに見直し)

勇払油ガス田等減損
損失計上
(2020年度)

カナダ・シェールガス
プロジェクトの当社保
有権益譲渡決定
(2021年5月)

政府の「カーボンニュートラル方 針」など企業の2050年ネットゼロ 達成対応への要請明確化

JAPEX2050
～カーボンニュートラル社会の実現に向けて～
策定
(2021年5月)

現中計策定時に比べ、当社をとりまく事業環境が大きく変化

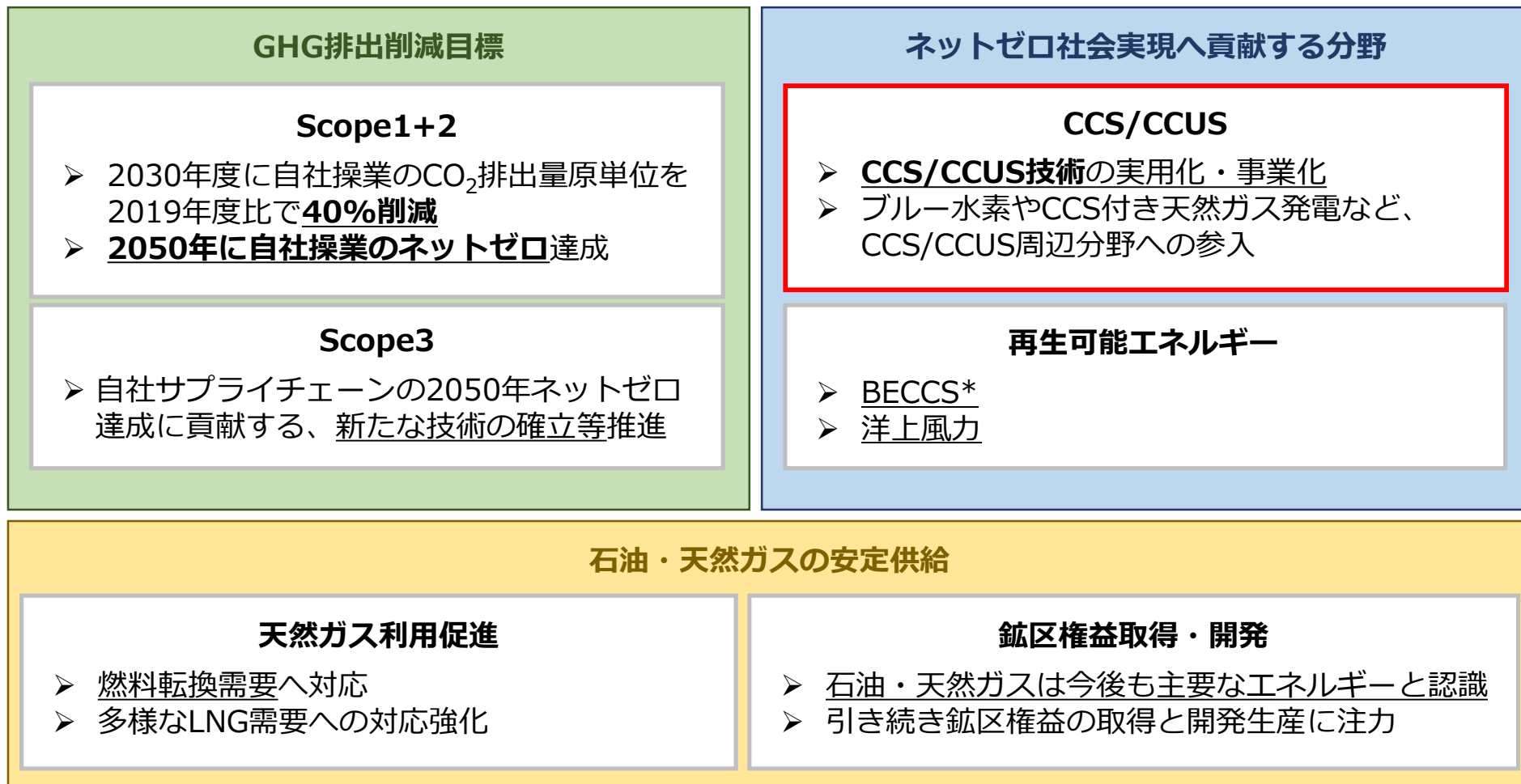
今年度（2021年度）内に、中期事業計画の見直しを実施予定

事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

JAPEX2050の概要

2050年時点の達成目標と、JAPEXとして貢献を目指す分野を明示



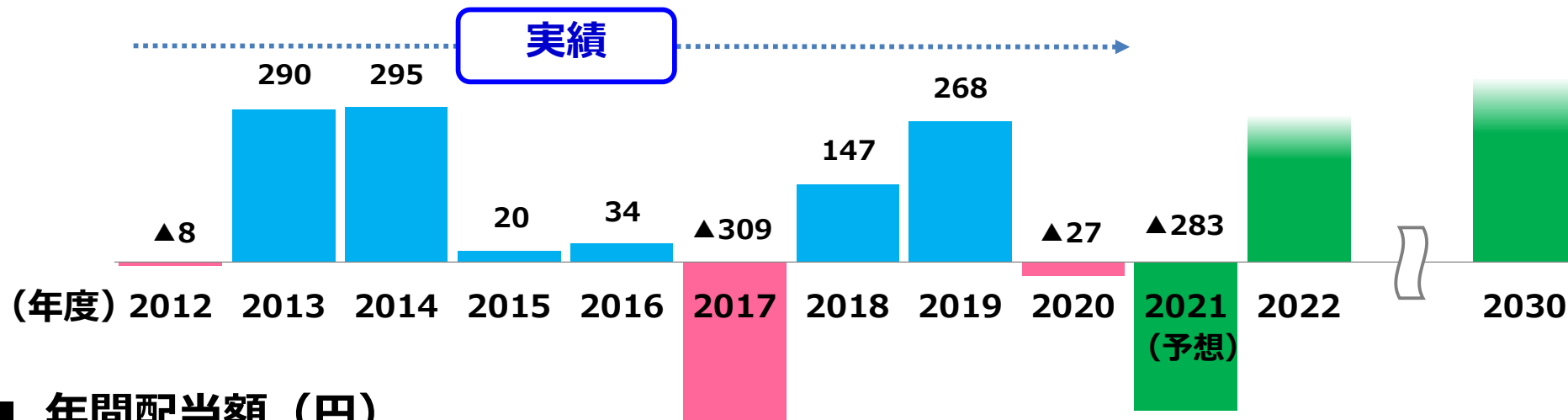
* CCS/CCUSと組み合わせネガティブエミッションを実現するバイオマス発電

事業報告

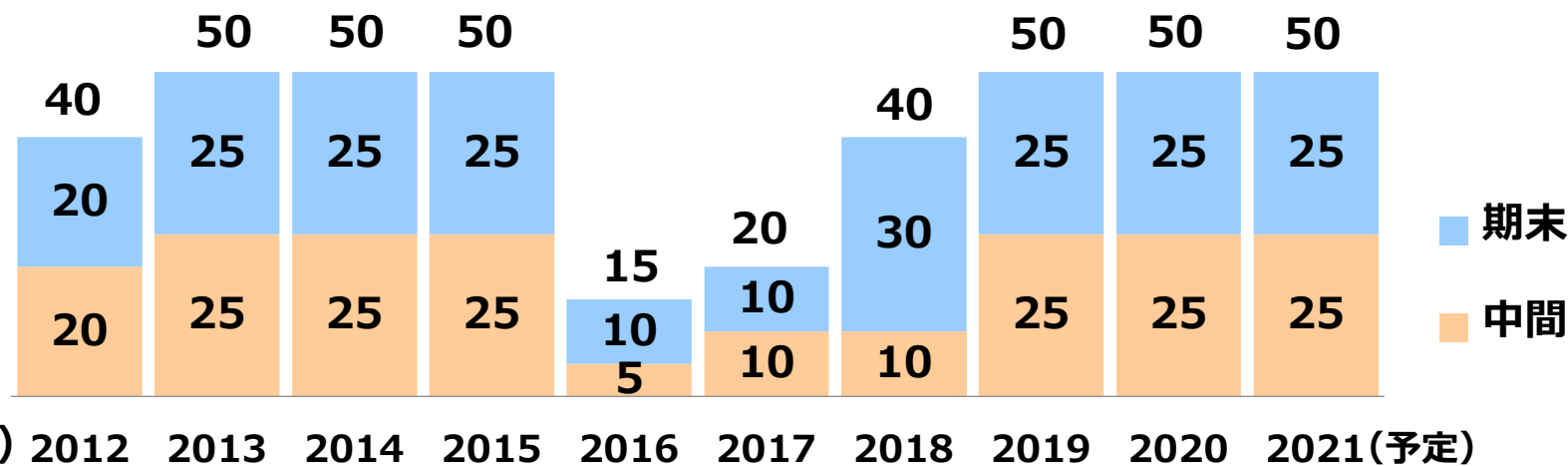
1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題

株主還元

■ 親会社株主に帰属する当期純損益の推移と見通し（億円）



■ 年間配当額（円）



事業報告

1. 企業集団の現況 (2) 対処すべき課題